

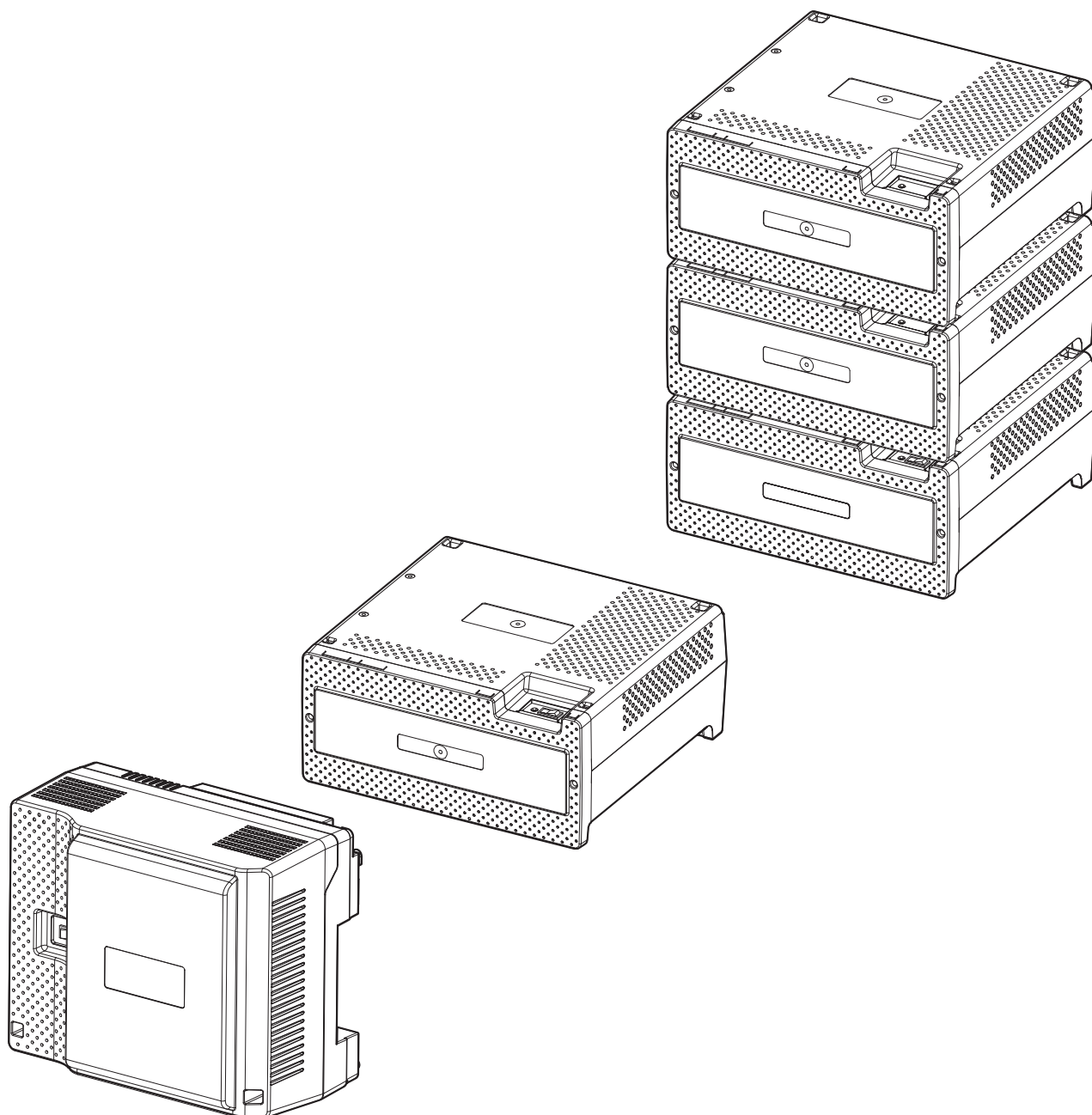


工事・保守マニュアル

11. IP キャリア:IPHO 編

ビジネスコミュニケーションシステム

PLATIA II



お願い

このマニュアルは、主装置に同梱しておりません。
設置工事の際は、このマニュアルをお読みください。

マニュアル表記基準

本編に記載されている構成機器の記載名称、および用語の説明について示します。

表 1. マニュアル表記基準

記載名称	説明
ひかり電話オフィスA	NTT 東日本、NTT 西日本が提供しているビジネス向けひかり電話サービスの1つのサービス品目で、基本契約は 1ch、1 契約番号です。なお、フレッツ 光ネクストサービスのタイプにより付加サービス「複数チャネル」、「追加番号」で増やせる最大数が異なります。ビジネスタイプ=100ch、ファミリータイプ=32ch、マンションタイプ=8ch になっております。
ひかり電話オフィスタイプ	NTT 東日本、NTT 西日本が提供しているビジネス向けひかり電話サービスの1つのサービス品目で、基本契約は 3ch、1 契約番号です。なお、1 契約で最大、8ch/32 番号まで対応可能です。
ひかり電話	NTT 東日本、NTT 西日本が提供している個人向けひかり電話の基本サービス品目。加入電話の置き換えサービスとして位置づけられています。オプションの付加サービスを申し込むことで、2回線同時通話、追加番号4個まで申し込むことができます。
ひかり電話A	上記個人向けひかり電話に、ニーズの多い付加サービス類(ナンバー・ディスプレイ、ナンバー・リクエスト、迷惑電話おことわりサービス、ボイスワープ、着信お知らせメール、キャッチホンなど)をパッケージにして、携帯電話の様に無料通話分を含んだサービスメニューとして位置づけています。
フレッツ 光ネクスト	ひかり電話オフィス A、およびひかり電話オフィスタイプのアクセス回線です。
フレッツ 光ライト	フレッツ 光ネクストと同構成のサービスですが、利用帯域の小さいユーザー向けに安価で提供できる「2段階」料金を用意した、エントリーサービス品目として位置づけられています。
NGN 網/公衆網	次世代ネットワークおよび既存の電話公衆網を示します。
レガシー	IP(Internet Protocol)通信技術以前の通信技術のことを総称してレガシー(Legacy: 遺産、遺物)と言います。
光回線終端装置	WAN(広域ネットワーク)、光ケーブル間のメディア変換を行います。なお、本装置は NTT 設置品です。(注 1)
スイッチング HUB	LAN(ローカルエリアネットワーク)側の端末機器を收容します。外部購入品です。(注 2)
PC 保守コンソール	設定データの作成を行います。
ひかり電話オフィスA対応 VoIP パッケージ(IPHO)	ひかり外線(フレッツ 光ネクスト)を直収することができます。
VoIP 通話チャネル増設パッケージ(BRGI)	IPHO パッケージの通話チャネルを 16ch 単位で増設できます。

注 1: WAN とは「Wide Area Network: 広域ネットワーク」のことを示し、本ページ以降、WAN と記載します。

注 2: LAN とは「Local Area Network: ローカルエリアネットワーク」のことを示し、本ページ以降、LAN と記載します。

目次

マニュアル表記基準	1
1. 機器仕様	1 - 1
1-1. 仕様	1 - 1
1-1-1. NTT 東日本、NTT 西日本との契約事項	1 - 1
1-1-2. 接続回線の仕様	1 - 1
1-1-3. システム構成図	1 - 2
2. 必要機器の構成	1 - 3
2-1. 主装置の機器構成	1 - 3
2-1-1. 構成機器リスト	1 - 3
3. パッケージ説明	1 - 4
3-1. IPHO パッケージの説明	1 - 4
3-1-1. IPHO パッケージ外観図	1 - 4
3-1-2. IPHO パッケージの機能概要	1 - 5
3-1-3. IPHO パッケージの状態ランプ表示一覧	1 - 6
3-1-4. IPHO パッケージのコネクタ収容およびケーブル接続	1 - 7
3-2. BRGI パッケージの説明	1 - 8
3-2-1. BRGI パッケージ外観図	1 - 8
3-2-2. BRGI パッケージの機能概要	1 - 9
3-2-3. BRGI パッケージの状態ランプ表示一覧	1 - 9
3-2-4. BRGI パッケージのコネクタ収容およびケーブル接続	10
4. 設置方法	1 - 11
4-1. 準備	1 - 11
4-1-1. パッケージおよび工事部材の準備	1 - 11
4-2. 工事手順	1 - 11
4-2-1. 主装置および外部機器の設置フロー	1 - 12
4-3. LAN/WAN ケーブルの接続	1 - 13
4-3-1. 外付けスイッチ利用接続例	1 - 13
4-3-2. 内蔵スイッチ利用接続例	1 - 14
4-4. 設定	1 - 15
4-4-1. 設定項目のサンプル	1 - 15
4-4-2. IPHO パッケージのデータ設定	1 - 16
(1) ビジネス向けサービス ひかり電話オフィスA、ひかり電話オフィスタイプの場合	1 - 16
(2) 個人向けサービス ひかり電話、ひかり電話Aの場合	1 - 22
4-4-3. 内蔵ルーターのデータ設定	1 - 23

4-4-4. データ設定時の注意事項.....	1 - 25
4-4-5. 設定データの保存(バックアップ).....	1 - 25
5. 試験.....	1 - 26
5-1. 着信試験.....	1 - 26
5-1-1. 指定着信先への着信接続.....	1 - 26
5-2. 発信試験.....	1 - 26
5-2-1. ひかり外線への発信接続.....	1 - 26
索引.....	1 - 28

1. 機器仕様

本編では NTT 東日本、NTT 西日本が提供している、ビジネス向けサービス、ひかり電話オフィス A・ひかり電話オフィスタ입、および個人向けサービス、ひかり電話・ひかり電話Aをフレッツ 光ネクスト回線で、ひかり電話オフィス A 対応 VoIP パッケージ(以降、IPHO と称す)に収容(直収)し、ひかり電話サービスを構築する方法について説明します。ひかり電話サービスを構築するための、ひかり電話サービスの仕様、必要機器の構成、パッケージ説明、設置方法および試験方法を示します。

1-1. 仕様

1-1-1. NTT 東日本、NTT 西日本との契約事項

本システムにひかり電話オフィス A またはひかり電話オフィスタ입を直収するため、アクセス回線として NTT 東日本の場合、フレッツ 光ネクストのビジネスタイプ、ギガファミリー・スマートタイプ、ギガマンション・スマートタイプ、ファミリー・ギガラインタイプ、マンション・ギガラインタイプ、ファミリー・ハイスピードタイプ、ファミリータイプ、マンション・ハイスピードタイプまたはマンションタイプのいずれか、NTT 西日本の場合、フレッツ 光ネクストのビジネスタイプ、ファミリー・スーパーハイスピードタイプ 隼、ファミリー・ハイスピードタイプ、ファミリータイプ、マンション・スーパーハイスピードタイプ 隼、マンション・ハイスピードタイプまたはマンションタイプのいずれかを契約してください。

また個人向けひかり電話、およびひかり電話Aの場合は、アクセス回線として NTT 東日本の場合、フレッツ 光ネクストのギガファミリー・スマートタイプ、ギガマンション・スマートタイプ、ファミリー・ギガラインタイプ、マンション・ギガラインタイプ、ファミリー・ハイスピードタイプ、ファミリータイプ、マンション・ハイスピードタイプまたはマンションタイプのいずれか^{注1}、NTT 西日本の場合、フレッツ 光ネクストのファミリー・スーパーハイスピードタイプ 隼、ファミリー・ハイスピードタイプ、ファミリータイプ、マンション・スーパーハイスピードタイプ 隼、マンション・ハイスピードタイプまたはマンションタイプのいずれか^{注2}を契約してください。

(注1、注2: 個人向けひかり電話・ひかり電話Aの場合、フレッツ 光ライトも対応可能です。)

なお、ユーザーの運用に応じて通話チャネル、および電話番号の追加契約が必要になります。また、インターネット接続をご利用する場合は、フレッツ 光ネクストに対応する ISP(インターネットサービスプロバイダ)との契約が別途必要です。

1-1-2. 接続回線の仕様

(1) ひかり電話サービスの種別

- ・ NTT 東日本、NTT 西日本の ひかり電話オフィス A、またはひかり電話オフィスタ입
- ・ NTT 東日本、NTT 西日本の ひかり電話、またはひかり電話A(個人向けサービス)

(2) アクセス回線の種別 (平成 29 年 3 月現在)

【NTT 東日本】

フレッツ 光ネクストのビジネスタイプ、ギガファミリー・スマートタイプ、ギガマンション・スマートタイプ、ファミリー・ギガラインタイプ、マンション・ギガラインタイプ、ファミリー・ハイスピードタイプ、ファミリータイプ、マンション・ハイスピードタイプまたはマンションタイプのいずれか。(個人向けひかり電話・ひかり電話Aの場合、フレッツ 光ライトも対応可能です。)

【NTT 西日本】

フレッツ 光ネクストのビジネスタイプ、ファミリー・スーパーハイスピードタイプ 隼、マンション・スーパーハイスピードタイプ 隼、ファミリー・ハイスピードタイプ、ファミリータイプ、マンション・ハイスピードタイプまたはマンションタイプのいずれか。(個人向けひかり電話・ひかり電話Aの場合、フレッツ 光ライトも対応可能です。)

(3) 注意事項

IPHO は、IPv6 インターネット接続には対応しておりません。IPv6 によるインターネット接続をご利用になる場合は、対応する外付けのひかり電話アダプタ等をご利用いただく必要があります。

(4) 詳細条件

その他の詳細な条件については NTT 東日本、NTT 西日本のホームページを参照してください。

1-1-3. システム構成図

本システムに NTT 東日本、NTT 西日本のひかり電話オフィス A、またはひかり電話オフィスタイプを直取し、ひかり電話サービスを提供するためのシステム構成例を示します。なお、個人向けひかり電話・ひかり電話Aの場合、下図の光回線終端装置(ONU)が、光回線終端装置と一体型になった、ひかり電話対応ホームゲートウェイ装置(UNI ポート接続^{注1})となる場合があります。

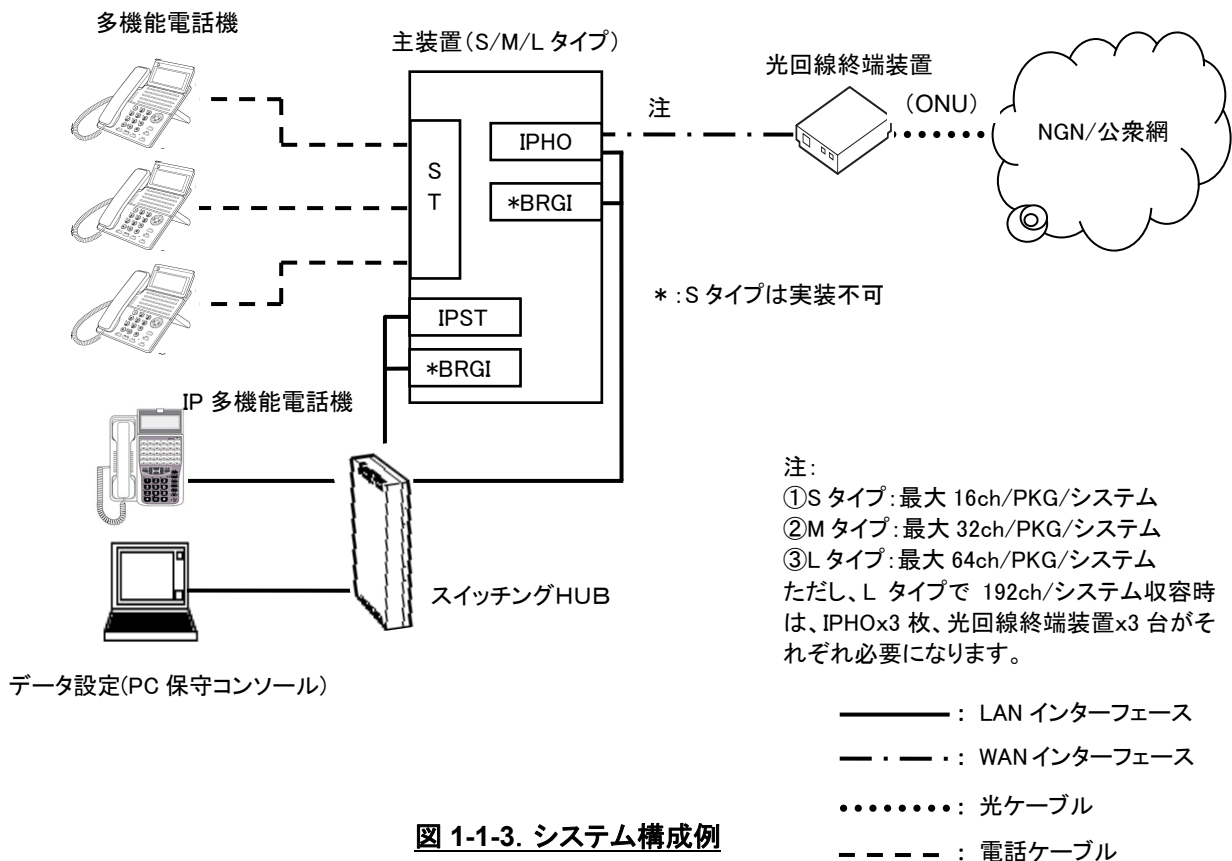


図 1-1-3. システム構成例

注1: ひかり電話対応ホームゲートウェイ装置の「UNI ポート接続」とは、ホームゲートウェイ装置内部でケーブル接続されている ONU 部を切り離し、IPHO の WAN ポートに直結する接続方法です。詳細については、NTT のホームページ(「UNI ポート接続」でインターネット検索し表示される、NTT 東日本の【「ひかり電話ルーター」のレンタル契約を解約せずに市販のひかり電話対応ルーターを利用する方法について】の「UNI ポートへの接続切り替え方法」を参照してください。

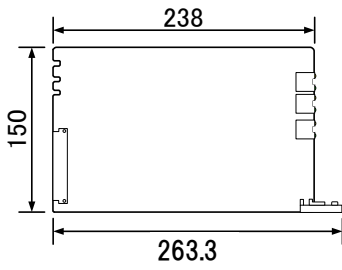
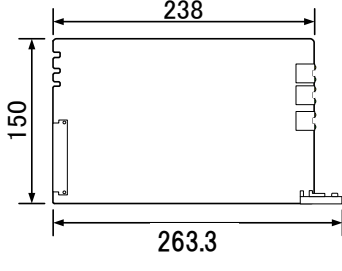
2. 必要機器の構成

2-1. 主装置の機器構成

ひかり電話サービスを構築するために主装置側で準備すべきパッケージを以下に示します。なお、パッケージの数量については、ユーザーの運用に応じて決定します。

2-1-1. 構成機器リスト

表 2-1-1. 主装置の機器構成

記載名称	外観寸法 (mm)	数量(最大)	備考
ひかり電話オフィスA 対応 VoIP パッケージ (IPHO)		S タイプ: 1 枚 M タイプ: 1 枚 L1 タイプ: 3 枚 L2 タイプ: 3 枚 L3 タイプ: 3 枚 (注 1)	ひかり外線を収容します。 IPHO パッケージ 1 枚につき 1 契約が可能です。使用チャンネル数は S タイプ=16ch、M タイプと L タイプは、BRGI パッケージを合わせて搭載することにより、M タイプ=32ch (BRGI: 1 枚)、L タイプ=64ch (BRGI: 3 枚) まで使用可能です。
VoIP 通話チャンネル増設パッケージ (BRGI)		S タイプ: 不可 M タイプ: 1 枚 L1 タイプ: 3 枚 L2 タイプ: 6 枚 L3 タイプ: 9 枚 (注 1)	①VoIP 音声⇄デジタル音声の相互変換を行います。 ②IPHO パッケージに追加して最大、16ch/パッケージの通話チャンネルを増設します。 ③S タイプは本パッケージの実装は不可で、IPHO パッケージに内蔵の BRGI 回路を使用します。 ④BRGI パッケージは IPHO 以外の IP 系パッケージとチャンネルリソースが共用できます。

注 1: L タイプの構成

L1 タイプ: 基本架のみ (1 段)

L2 タイプ: 基本架+増設架 (2 段)

L3 タイプ: 基本架+増設架+増設架 (3 段)

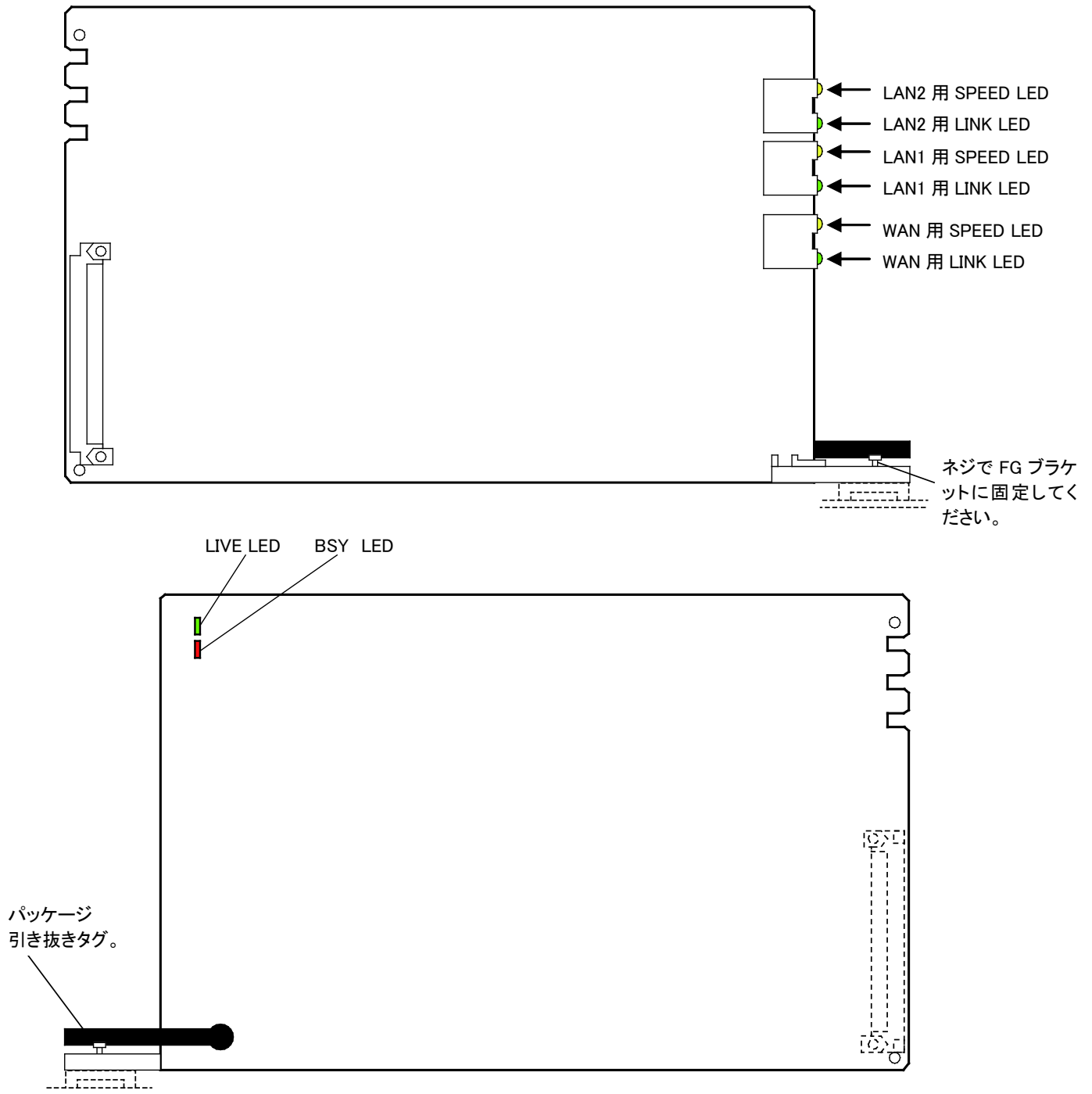
上記の IPHO パッケージおよび BRGI パッケージのほかに、外部購入品のスイッチング HUB および光回線終端装置 (NTT 設置品) が必要になります。

3. パッケージ説明

3-1. IPHO パッケージの説明

本パッケージは NTT 東日本、NTT 西日本のひかり外線を直収し、ひかり電話サービスを提供します。なお、アクセスラインとして NTT 東日本、NTT 西日本と、フレッツ 光ネクストの契約が必要となります。パッケージの外観図、コネクタの收容、LED などの実装状況、および仕様について以下に示します。

3-1-1. IPHO パッケージ外観図



3-1-2. IPHO パッケージの機能概要

- (1) 本パッケージは NTT 東日本、NTT 西日本のひかり外線を直収するために必要となります。
- (2) 本パッケージは 16 チャンネル/パッケージの通話チャンネル(BRGI 回路部)を内蔵しています。
- (3) 本パッケージはシステムのタイプにより、ひかり電話の通話チャンネルの最大容量が異なります。通話チャンネル(BRGI 回路部)が不足するときは、下表のとおり BRGI パッケージを追加して 16ch 単位で通話チャンネルを増設します。ただし、S タイプは通話チャンネルを増設することができませんので注意してください。

システムのタイプ	WAN 側チャンネル数	HW 側チャンネル数(注)	BRGI 実装数(増設 ch 数)	同時通話数(最大)
Sタイプ	16ch/パッケージ	16ch/パッケージ	実装不可	16ch/パッケージ
Mタイプ	32ch/パッケージ	16ch/パッケージ	1 枚(16ch)	32ch/パッケージ
Lタイプ	64ch/パッケージ	16ch/パッケージ	3 枚(48ch)	64ch/パッケージ

注:HW とは High Way のことであり、本システム内部の時分割スイッチを示しております。

- (4) LED でパッケージの運用状況、および障害発生時のアラーム状態を表示できます。

3-1-3. IPHO パッケージの状態ランプ表示一覧

表 3-1-3. IPHO パッケージ状態ランプ表示

パッケージ上の LED 種別		個数	色表示パターン	色	状態
LIVE LED		1	消灯	緑	電源未投入、またはパッケージ未実装状態を示します。
			速点滅 (注 1)		パッケージ実装制限超過の状態を示します。(注 3)
			遅点滅 (注 2)		起動中、または停電状態を示します。
			点灯		電源投入直後、または動作中を示します。
BSY LED		1	消灯	赤	電源未投入、回線未使用、実装制限超過、停電状態、または OUS 状態を示します。(注 3)
			点灯		電源投入直後、または回線使用中を示します。
LAN	SPEED LED	2	消灯	黄	電源未投入、または 10/100BASE で動作していることを示します。
			点灯		1000BASE が選択されていることを示します。
	LINK LED	2	消灯	緑	電源未投入、または LAN ケーブル未接続の状態を示します。
			点滅		LAN 側が通信中であることを示します。
			点灯		LAN ケーブル接続中の状態を示します。
WAN	SPEED LED	1	消灯	黄	電源未投入、または 10/100BASE で動作していることを示します。
			点灯		1000BASE が選択されていることを示します。
	LINK LED	1	消灯	緑	電源未投入、または LAN ケーブル未接続の状態を示します。
			点滅		WAN 側が通信中であることを示します。
			点灯		WAN ケーブル接続中の状態を示します。

注 1: 速点滅とは、LIVE LED が 100msON/OFF のインターバルにて点滅することを示します。

注 2: 遅点滅とは、LIVE LED が 500msON/OFF のインターバルにて点滅することを示します。

注 3: 実装制限超過とは、システムに実装できる数を超過してパッケージが収容されているため、該当するパッケージがシステムに実装されていない状態を示します。

3-1-4. IPHO パッケージのコネクタ収容およびケーブル接続

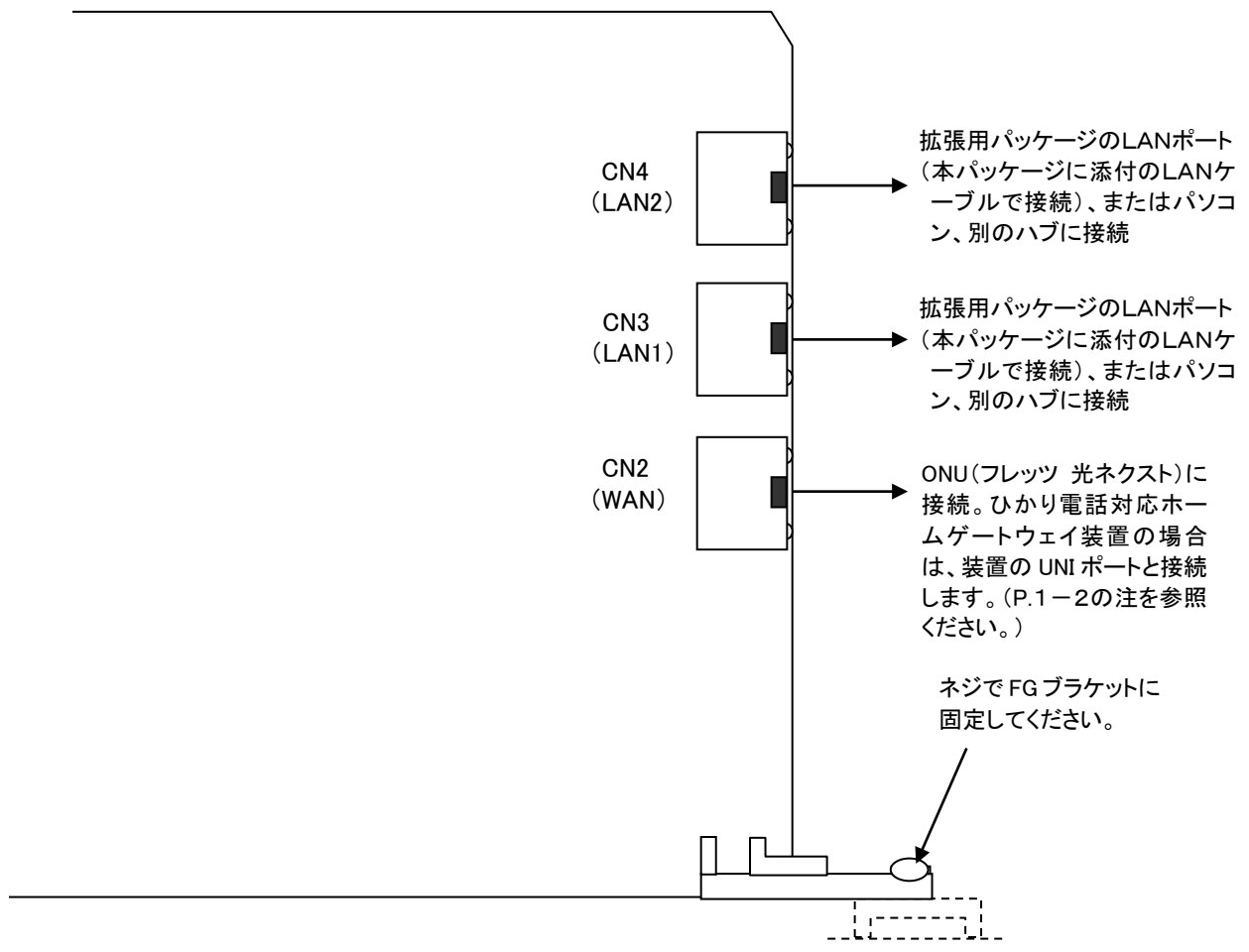
本パッケージに搭載されているコネクタに収容されている信号線の収容図、およびケーブル接続図を示します。なお、本パッケージと関連機器との接続は、本編の「4-3. LAN/WAN ケーブルの接続」で示します。

また、本パッケージは LAN インターフェース (AUTO-MDI/MDIX, 10/100/1000AUTO) で行うことから、以下のコネクタ収容で関連機器と接続してください。(カテゴリ 5e 以上のケーブルを使用してください。)

(1) コネクタ収容

LAN1/LAN2 (RJ45)		
ピン番号	信号名	信号種別
1	TRD0+	データ0 送受信(+)
2	TRD0-	データ0 送受信(-)
3	TRD1+	データ1 送受信(+)
4	TRD1-	データ1 送受信(-)
5	TRD2+	データ2 送受信(+)
6	TRD2-	データ2 送受信(-)
7	TRD3+	データ3 送受信(+)
8	TRD3-	データ3 送受信(-)

(2) ケーブル接続図

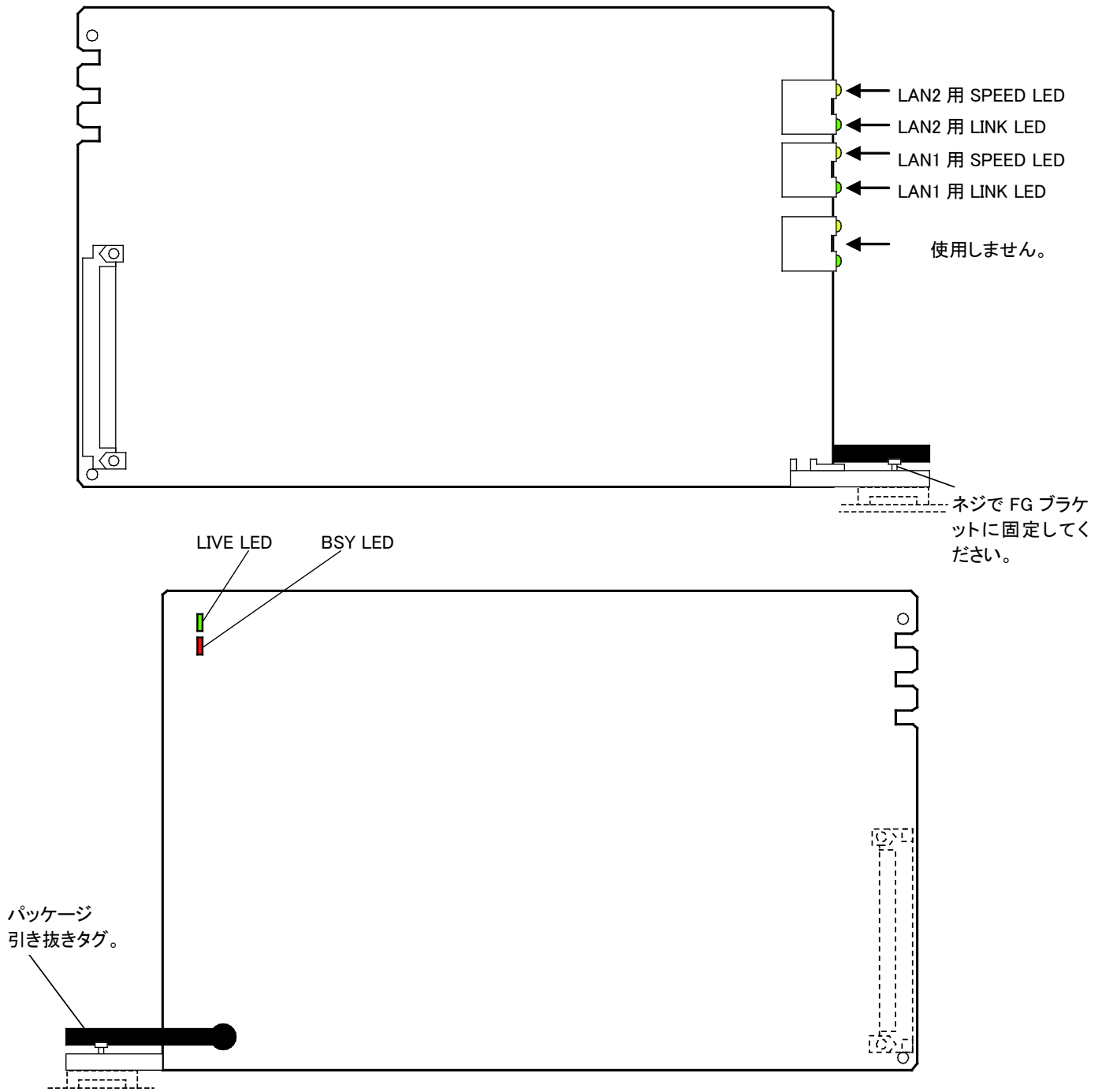


3-2. BRGI パッケージの説明

本パッケージは VoIP 音声(IP パケット)とデジタル音声(PCM)を相互変換する機能を有しており、ひかり外線とレガシー系端末(多機能電話機、コードレス電話機など)やレガシー回線(OD 専用線など)間の通話で使用されます。また、IPHO パッケージに追加して BRGI 回路部を増設し、通話チャネルの増設(16ch/パッケージ)を行います。

パッケージの外観図、コネクタの収容、LED などの実装状況、および仕様について以下に示します。

3-2-1. BRGI パッケージ外観図



3-2-2. BRGI パッケージの機能概要

- (1) 本パッケージは、ひかり外線とレガシー系端末(単独電話機、コードレス電話機など)間の通信時、VoIP 音声(IP パケット)とデジタル音声(PCM)の変換を行います。
- (2) 本パッケージは、16ch/パッケージの VoIP 音声(IP パケット)とデジタル音声(PCM)の変換回路を有しており、本パッケージを増設することで、IPHO パッケージの通話チャンネルを 16ch 単位で増設できます。ただし、S タイプの場合は本パッケージを実装することはできません。
- (3) LED でパッケージの運用状況、および障害発生時のアラーム状態を表示できます。
- (4) 本パッケージは、IPHO 以外の IP 系パッケージとチャンネルリソースを共用することができます。

3-2-3. BRGI パッケージの状態ランプ表示一覧

表 3-2-3. BRGI パッケージ状態ランプ表示

パッケージ上の LED 種別		個数	色表示パターン	色	状態
LIVE LED		1	消灯	緑	電源未投入、またはパッケージ未実装状態を示します。
			速点滅 (注 1)		パッケージ実装制限超過の状態を示します。(注 3)
			遅点滅 (注 2)		起動中、または停電状態を示します。
			点灯		電源投入直後、または動作中を示します。
BSY LED		1	消灯	赤	電源未投入、回線未使用、実装制限超過、停電状態、または OUS 状態を示します。(注 3)
			点灯		電源投入直後、または回線使用中を示します。
LAN	SPEED LED	2	消灯	黄	電源未投入、または 10/100BASE で動作していることを示します。
			点灯		1000BASE が選択されていることを示します。
	LINK LED	2	消灯	緑	電源未投入、または LAN ケーブル未接続の状態を示します。
			点滅		LAN 側が通信中であることを示します。
		点灯		LAN ケーブル接続中の状態を示します。	
WAN	SPEED LED	1	消灯	黄	(使用しません)
			点灯		
	LINK LED	1	消灯	緑	
			点滅		
			点灯		

注 1: 速点滅とは、LIVE LED が 100msON/OFF のインターバルにて点滅することを示します。

注 2: 遅点滅とは、LIVE LED が 500msON/OFF のインターバルにて点滅することを示します。

注 3: 実装制限超過とは、システムに実装できる数を超過してパッケージが收容されているため、該当するパッケージがシステムに実装されていない状態を示します。

3-2-4. BRGI パッケージのコネクター収容およびケーブル接続

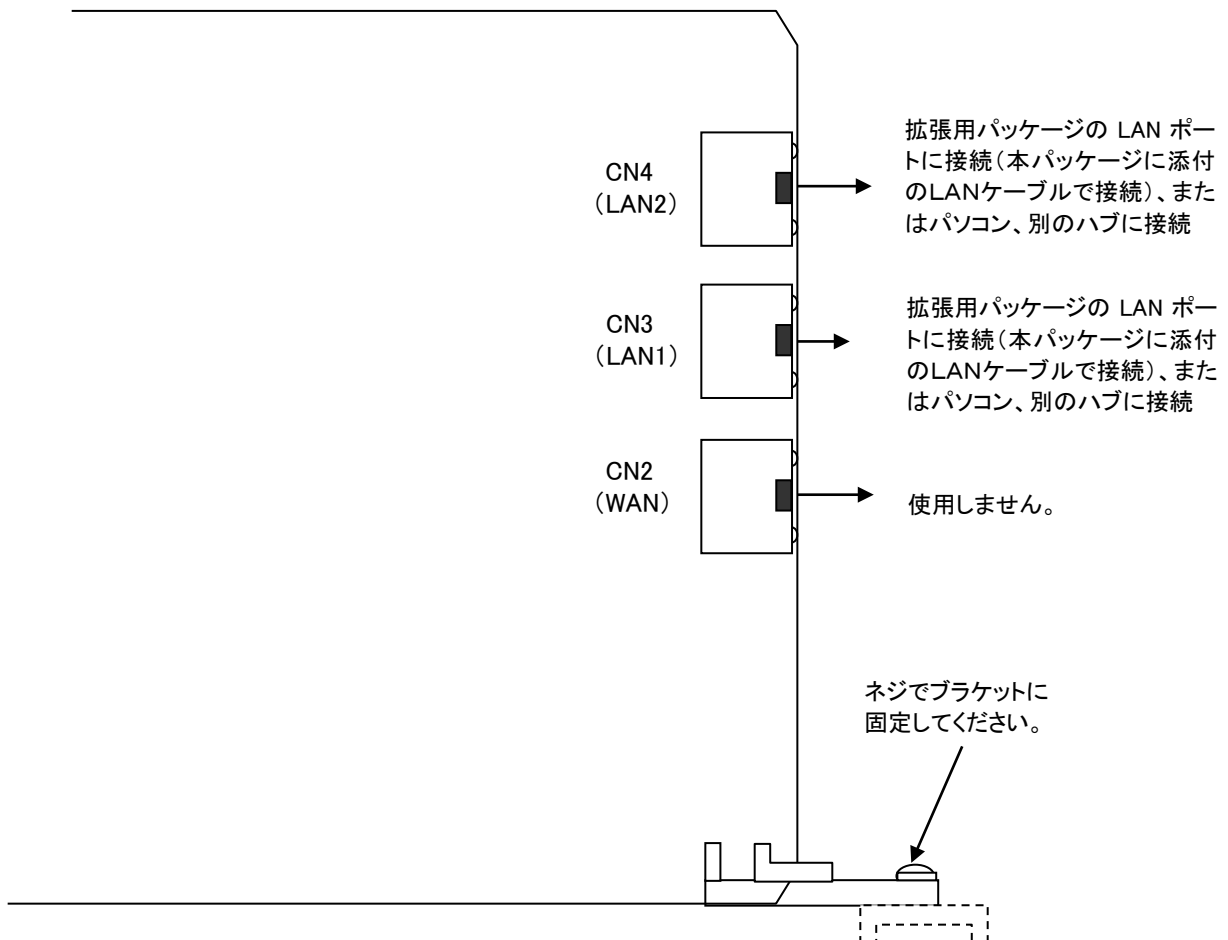
本パッケージに搭載されているコネクターに収容されている信号線の収容図、およびケーブル接続図を示します。なお、本パッケージと関連機器との接続は、本編の「4-3. LAN/WAN ケーブルの接続」で示します。

また、本パッケージは LAN インターフェース(AUTO-MDI/MDIX, 10/100/1000AUTO)で行うことから、以下のコネクター収容で関連機器と接続してください。(カテゴリ 5e 以上のケーブルを使用してください。)

(1) コネクター収容

LAN1/LAN2 (RJ45)		
ピン番号	信号名	信号種別
1	TRD0+	データ 0 送受信(+)
2	TRD0-	データ 0 送受信(-)
3	TRD1+	データ 1 送受信(+)
4	TRD1-	データ 1 送受信(-)
5	TRD2+	データ 2 送受信(+)
6	TRD2-	データ 2 送受信(-)
7	TRD3+	データ 3 送受信(+)
8	TRD3-	データ 3 送受信(-)

(2) ケーブル接続図



4. 設置方法

4-1. 準備

本システムにIPHO パッケージ、BRGI パッケージおよび関連機器（外部購入品のスイッチング HUB、光回線終端装置など）を設置して、ひかり外線を收容するために工事者が準備すべき内容を以下に示します。

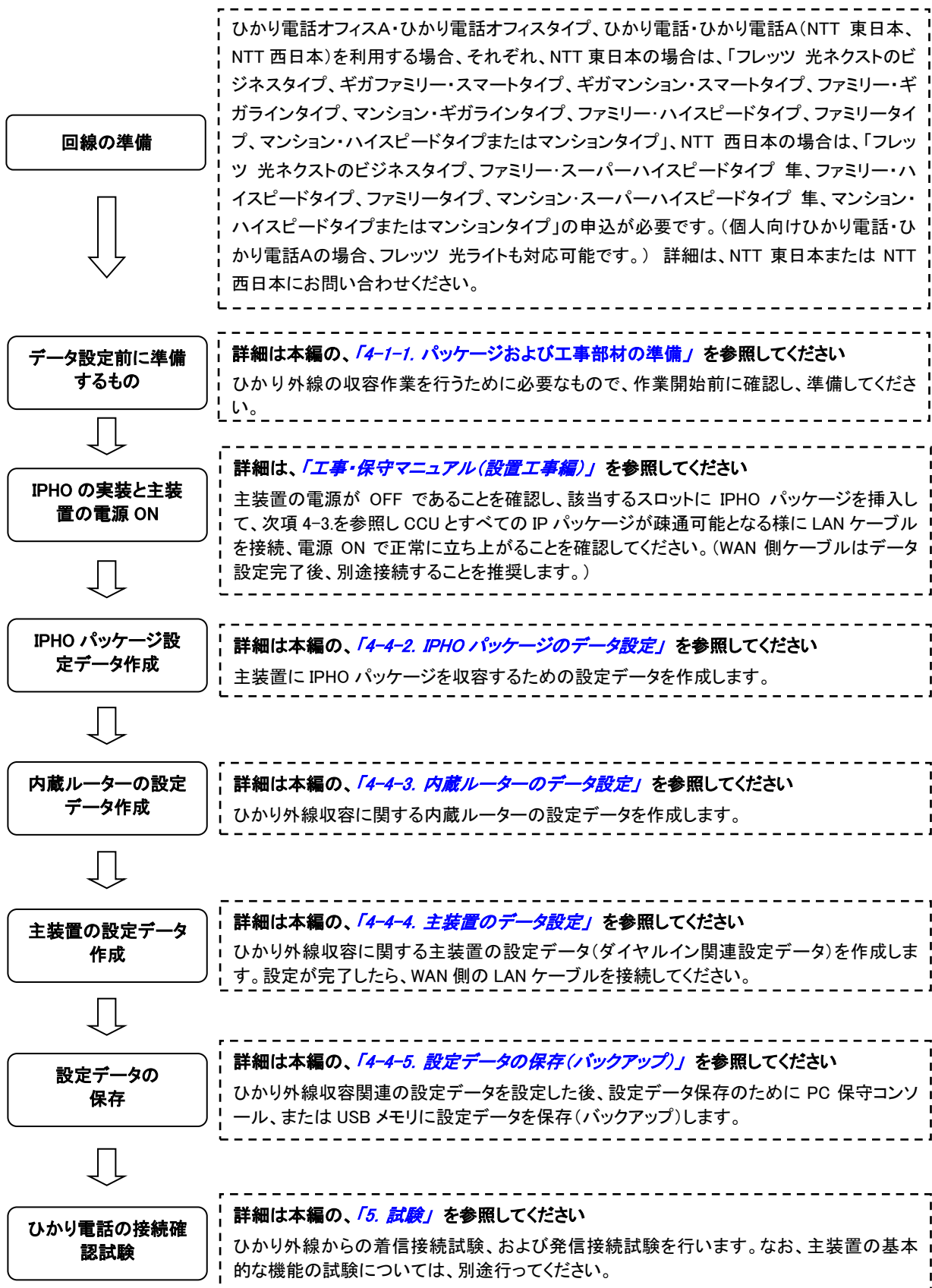
4-1-1. パッケージおよび工事部材の準備

- (1) IPHO パッケージ
- (2) BRGI パッケージ
- (3) スwitching HUB(外部購入品)
- (4) 工事ケーブル(本編の「[3-1-4.IPHO パッケージのコネクター收容およびケーブル接続](#)」および「[3-2-4.BRGI パッケージのコネクター收容および接続](#)」を参照)
- (5) PC 保守コンソール搭載済み PC。なお、PC の条件については、「[工事・保守マニュアル\(保守編\):PC 保守コンソール](#)」を参照してください。
- (6) アクセス回線 フレッツ 光ネクストの開通通知書(ネットワーク設定情報がかかれた書類)
- (7) ユーザーの事務所内へのアクセス回線の配線・接続の確認、および光回線終端装置(NTT 設置品)の設置確認。(個人向けひかり電話・ひかり電話Aの場合、光回線終端装置がひかり電話対応ホームゲートウェイ装置の場合があります。)
- (8) ISP(インターネットサービスプロバイダー)から通知された「認証 ID、認証パスワード」が記載された用紙。ただし、インターネット接続が無い場合は不要です。
- (9) ユーザーの LAN 環境に本システムを設置する場合には、IPHO パッケージの枚数分だけ LAN の IP アドレスを確保する必要があります。なお、IPHO 以外にも IP 系パッケージを搭載するのであれば、その枚数分だけ IP アドレスが必要となります。

4-2. 工事手順

本システムにIPHO パッケージ、BRGI パッケージおよび関連機器（外部購入品のスイッチング HUB、光回線終端装置など）を設置し、ひかり外線を直収するための関連設定データの設定手順、および関連設置工事の設置手順について次ページに示します。

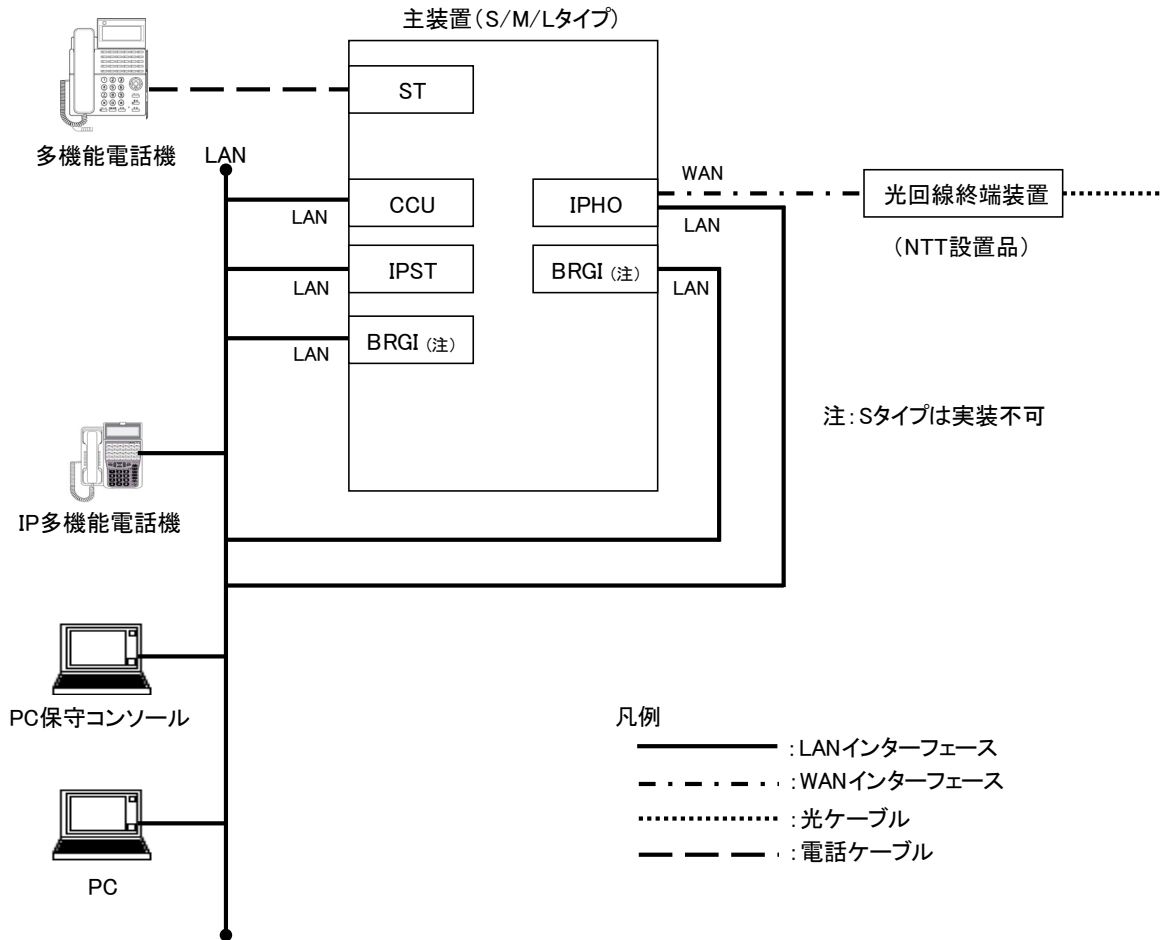
4-2-1. 主装置および外部機器の設置フロー



4-3. LAN/WAN ケーブルの接続

IPHO パッケージ、光回線終端装置、PC 保守コンソールおよび IP 多機能電話機との LAN ケーブル、WAN インターフェース用 LAN ケーブルの接続について以下に示します。

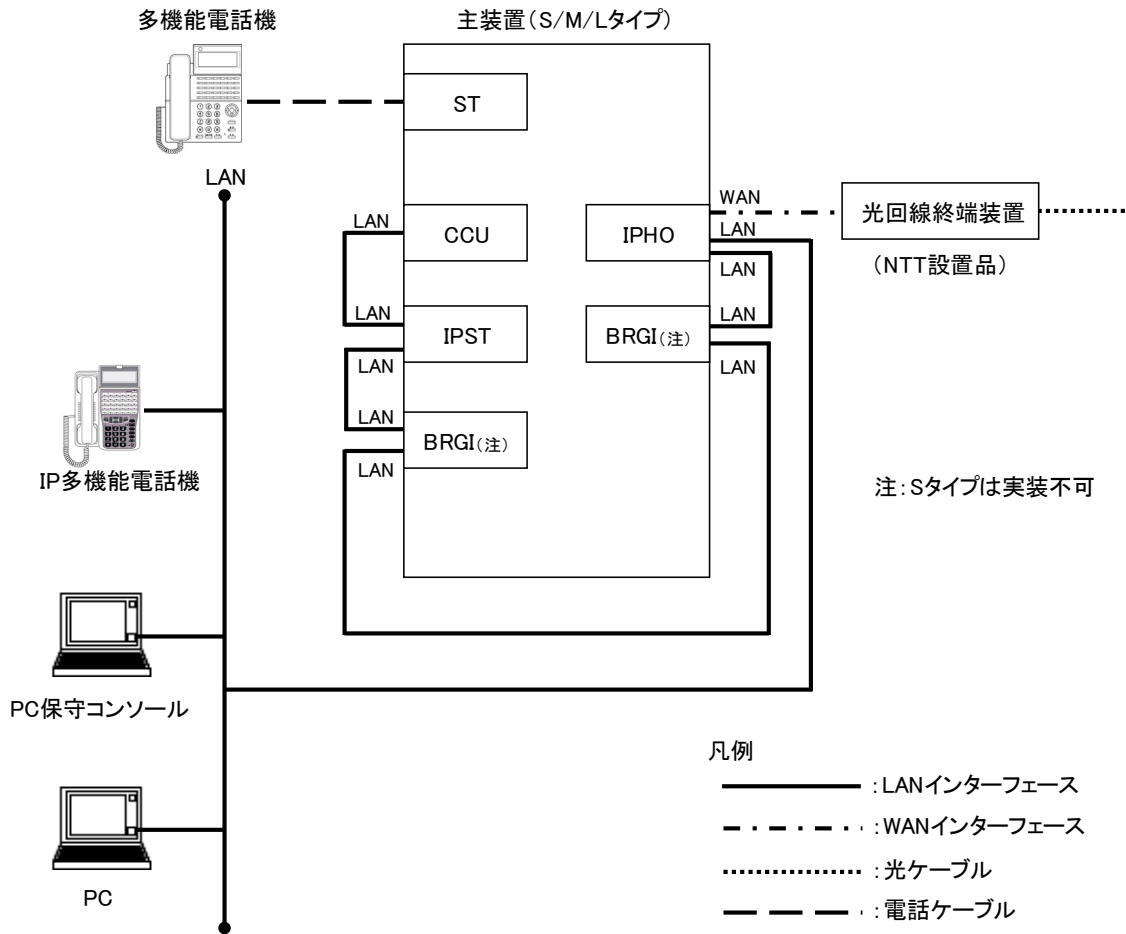
4-3-1. 外付けスイッチ利用接続例



- ① MタイプやLタイプで利用の場合、パッケージの活性挿抜を行うとLANリンク断となるので注意してください。
- ② 個人向けひかり電話・ひかり電話Aの場合、光回線終端装置が、ひかり電話対応ホームゲートウェイ装置(UNIポート接続)になる場合があります。

図 4-3-1. 外付けスイッチ利用接続例

4-3-2. 内蔵スイッチ利用接続例



- ① 内蔵スイッチ利用時、IP 多機能電話機と WAN のカスケード接続は、最大で 7 段以内にしてください。
- ② M タイプや L タイプで利用の場合、パッケージの活性挿抜を行うと LAN リンク断となるので注意してください。
- ③ 個人向けひかり電話・ひかり電話Aの場合、光回線終端装置が、ひかり電話対応ホームゲートウェイ装置(UNIポート接続)になる場合があります。

図 4-3-2. 内蔵スイッチ利用接続例

4-4. 設定

本システムにひかり外線を收容するために IPHO パッケージに設定するべきデータ、内蔵ルーターに設定するべきデータ、および主装置に設定するべきデータについて以下に示します。

なお、必須設定データ(塗りつぶし有り)は必ず設定、または変更してください。また、オプション設定データ(塗りつぶし無し)については、ユーザーの運用に応じて設定してください。

4-4-1. 設定項目のサンプル

次項以降で設定する主装置の設定データと、キャリア(NTT)からの注文内容のお知らせとの対応を、以下のサンプルに図示します。当例は「ひかり電話オフィスA」の場合です。設定内容の詳細は、次項以降の各データ番号の解説を参照してください。

ご注文内容のお知らせ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
 この度は、弊社サービスをお申し込みいただきまして誠にありがとうございます。
 お申し込みいただきましたお客さまのご利用内容をご連絡申し上げます。
 ご不明な点等ございましたら下記連絡先までお問い合わせいただけますよう、お願い申し上げます。敬具

◆プランの内容

プラン	サービスの内訳
ひかり電話オフィスA(エース)・プラン2	※お客様がご契約中のサービスの内容を記載しています。 【割引グループID】EA0001 【チャンネル数】3 【番号数】2 複数チャンネル、追加番号

ご注文内容詳細

ご注文電話番号	03-6435-xxxx	代表契約番号
---------	--------------	--------

◆ご注文いただいた商品等の内容

商品名	内容	個数	請求内訳	月額利用料等
【03-6435-】 発信電話番号・通知 追加番号	登録	1	付加機能	

D850 IP 回線数

代表契約番号と追加番号1個の場合の例

D851 IP 回線契約番号

- ・ 000 欄に代表契約番号が自動登録されます。
- ・ 001 欄以降に追加番号が自動登録されます。

個人向けひかり電話・ひかり電話Aの場合、既にひかり電話対応ホームゲートウェイ装置でお使いのチャンネル数(回線数)、契約している代表契約番号および追加電話番号を確認しておいてください。

4-4-2. IPHO パッケージのデータ設定

(1) ビジネス向けサービス ひかり電話オフィスA、ひかり電話オフィスタイプの場合

データ番号	データ/コマンド名(設定範囲)	初期値	設定値	備考
D870	IP 回線パッケージスロット指定 ①パッケージ番号 1> パッケージ種別> 指定なし/IPHO1~IPHO3/ IPKD1~IPKD3 /その他 IP/ IPFU1~IPFU3 ②パッケージ番号 2> パッケージ種別> 指定なし/IPHO1~IPHO3/ IPKD1~IPKD3 /その他 IP/ IPFU1~IPFU3 ③パッケージ番号 3> パッケージ種別> 指定なし/IPHO1~IPHO3/ IPKD1~IPKD3 /その他 IP/ IPFU1~IPFU3	IP 回線系パッケージ 未実装時: パッケージ種別> 指定なし 指定スロット>00 MAC アドレス> 0(12 桁) IP 回線系パッケージ 実装時: ①パッケージ種別> IPHO1~IPHO3/ IPKD1~IPKD3 / その他 IP/ IPFU1 ~IPFU3 ②指定スロット> 実装スロット番号 ③MAC アドレス>0 実装パッケージの MAC アドレス	主装置の空きスロットに IPHO パッケージを挿入すると、関連設定データは自動で設定されます。	ユーザーの運用に応じ IPHO パッケージを実装します。 ①S タイプ:1 枚(最大) ②M タイプ:1 枚(最大) ③L タイプ:3 枚(最大)
解説: (1)自動実装 空きスロットに IPHO パッケージを挿入すると、パッケージ種別(IPHO1)、指定スロット番号および MAC アドレスは自動で設定されます。ただし、S タイプは活性挿抜不可であるため、主装置の電源を OFF にして IPHO パッケージを指定スロットに挿入し、主装置の電源を ON にすることで関連データが設定されます。 (2)手動実装 IPHO パッケージを手動で 1 枚のみ実装する場合、パッケージ種別の IPHO1 を選択してください。複数枚を実装する場合、2 枚目以降は IPHO2、IPHO3 と重複しないように選択してください。パッケージ種別が重複すると、IP アドレスの初期値が重複します。				
D1202	IP アドレス設定(LAN インターフェース設定) PKG 種別/収容位置 ①IP アドレス(PKG マスターコントロール用) > 1.0.0.1~223.255.255.254 (127.0.0.0~127.255.255.255 を除く) ②サブネットマスク: > 255.0.0.0~255.255.255.248 ③IP アドレス(HW メディアコントロール用) > 1.0.0.1~223.255.255.254 (127.0.0.0~127.255.255.255 を除く)	①IP アドレス IP 回線系 PKG1: 192.168.1.254 IP 回線系 PKG2: 192.168.1.253 IP 回線系 PKG3: 192.168.1.252 その他:0.0.0.0 ②サブネットマスク: 255.255.255.0 ③ 192.168.1.251 (全パッケージ)	初期値で実装順に初期値のように設定されます。問題があるようであれば、変更します。 なお、BRGI 実装時は、IP アドレスおよびサブネットマスクを手動で設定します。	最初に実装した IPHO パッケージの IP アドレス(PKG マスターコントロール用)は、192.168.1.254 から割付けられます。 HW メディアストリーム用 IP アドレスは 192.168.1.251 が全パッケージに割り付けられます。複数枚収容しても同じ IP アドレスで問題ありません。他の機器の IP アドレスとの重複は出来ません。
解説:IPHO パッケージの通話チャンネルは 16ch/パッケージです。通話チャンネルを追加する場合は、BRGI パッケージを実装しますが、IP アドレスおよびサブネットマスクは初期値ではなく、新たに設定してください。				

データ番号	データ/コマンド名 (設定範囲)	初期値	設定値	備考
D850	IP 回線数 パッケージ毎(1~3) Lクラス パッケージ毎(1~3) パッケージ 1>0~64 (32) パッケージ 2>0~64 (32) パッケージ 3>0~64 (32) Mクラス パッケージ毎(1~2) パッケージ 1>0~32 パッケージ 2>0~32 パッケージ 3>0 ※設定不可 Sクラス パッケージ毎(1) パッケージ 1>0~16 パッケージ 2>0 ※設定不可 パッケージ 3>0 ※設定不可	パッケージ毎(1~3) パッケージ 1>0 パッケージ 2>0 パッケージ 3>0	D870 で実装したパッケージ (パッケージ番号 1>IPHO1) を選択し、キャリア(NTT 東西)と契約した回線数を登録します。	ユーザーの運用に応じ IPHO パッケージを実装します。 Lタイプの場合、NTT ひかり電話オフィスA回線の契約数分、パッケージを搭載する必要があります。 ①Sタイプ:1枚(最大) ②Mタイプ:1枚(最大) ③Lタイプ:3枚(最大)

解説: ひかり外線(IPHO パッケージに収容)の場合、本システムのタイプにより収容チャンネル数が異なります。

- ① Sタイプ:16ch/パッケージ、② Mタイプ:32ch/パッケージ、③ Lタイプ:64ch/パッケージ
 キャリア(NTT)のご注文内容のお知らせの「サービス内容」に記載のチャンネル数を設定します。

D851	IP 回線契約番号 パッケージ番号毎(1~3) 1: パッケージ番号 1 >No. 000~299 (IPHO 実装時) 指定 >契約番号: 3~32 桁[設定範囲:0~9] >契約番号使用有無(IP 回線収容位置毎) ×:無効 / ○:使用 2: パッケージ番号 2 >No. 000~299 (IPHO 実装時) 指定 >契約番号: 3~32 桁[設定範囲:0~9] >契約番号使用有無(IP 回線収容位置毎) ×:無効 / ○:使用 3: パッケージ番号 3 >No. 000~299 (IPHO 実装時) 指定 >契約番号: 3~32 桁[設定範囲:0~9] >契約番号使用有無(IP 回線収容位置毎) ×:無効 / ○:使用	全 No.(エリア番号) (000~299) 契約番号:未登録(0) 契約番号使用有無 (収容位置毎): ×(無効)	①D870 で実装したパッケージ(パッケージ 1>IPHO1)を選択します。 ②エリア番号(No.) (000~299)のいずれかの番号を選択します。 注:000 に代表契約番号、001 以降に追加番号が自動登録されます。 ③キャリアから通知された回線契約番号(例:0312345678)が自動登録されます ④回線契約番号ごとに、当該収容位置での、契約番号使用有無指定を「○:使用」に変更します。	ユーザーの運用に応じ契約している電話番号を最大 300 番号まで登録できます。 (最大、32 桁まで登録可能)
------	--	---	--	--

解説: 本データは、パッケージごとにキャリア(NTT 東西)との回線契約番号を登録し、その回線契約番号ごとの収容位置に対して「契約番号使用有無指定」を「○:使用」と設定することで、登録済みの回線契約番号がその収容位置で有効となります。キャリア(NTT)のご注文内容のお知らせの「ご注文内容詳細」に記載の代表契約番号、追加番号がサーバーに接続されると自動登録されます。

データ番号	データ/コマンド名(設定範囲)	初期値	設定値	備考
D733	ひかり回線規制番号	(V1.00～)		
	国内	国内		解説で示した通り、かけられる番号は本データより削除することで発信が可能となります。
	>エリア No00～99	エリア 規制番号		
	>番号 1～8 桁、未登録(0) [設定範囲:0～9,*,#]	00 001		
		01 003		
		02 004		
		03 005		
	国際	04 006		
	>エリア No00～99	05 007		
	>番号 1～8 桁、未登録(0) [設定範囲:0～9,*,#]	06 008		
		07 0091		
		08 0130		
		09 0140		
		10 0160		
		11 0170		
		12 0180		
		13 0190		
		14 020		
		15 060		
		16 0840		
		17 0990		
		18 100		
		19 102		
		20 106		
		21 107		
		22 108		
		23 111		
		24 112		
		25 114		
		26 121		
		27 122		
		28 125		
		29 134		
		30 136		
		31 141		
		32 145		
		33 146		
		34 149		
		35 15		
		36 16		
		37 189		
		38 05701		
		39 05703		
		40 05704		
		41 05708		
		42 05709		
		43 #		
		44～99 未登録		
	国際	国際		
		00～99 未登録		

データ番号	データ/コマンド名(設定範囲)	初期値	設定値	備考
		(V2.00～) 国内 エリア 規制番号 00 001 01 003 02 004 03 005 04 006 05 007 06 008 07 0091 08 0130 09 0140 10 0160 11 0170 12 0190 13 060 14 0840 15 100 16 102 17 106 18 107 19 108 20 111 21 112 22 114 23 121 24 122 25 125 26 134 27 136 28 141 29 145 30 146 31 149 32 15 33 16 34 189 35 0910 36～99 未登録 国際 00～99 未登録		
解説: ひかり回線規制番号(D733)初期値に登録されている番号のうち、発信可能な番号を削除して運用することで、該当番号への規制が解除され発信が可能となります。				
D1351	SIP サーバアドレス PKG 種別/収容位置 >半角英数字/記号 0～64 文字 FQDN 時:	(PKG 毎) 未登録		ひかり外線に接続時、自動で設定されます。(参照のみ可能)

データ番号	データ/コマンド名(設定範囲)	初期値	設定値	備考
	半角英数字/記号 0～64 文字(但し、記号は「:」「”」 は除く) IPv4 時: 1.0.0.0～223.255.255.255(ただし 127.0.0.0～127.255.255.255を除く)			
解説: ひかり外線(IPHO パッケージに収容)の場合、ひかり外線に接続することで、 SIP サーバ関連データ(D1351～D1355) は自動で設定されます。				
D1352	SIP サーバポート PKG 種別/収容位置 >1～65535	(PKG 毎) 5060	5060 (参照のみ可能)	
解説: ひかり外線(IPHO パッケージに収容)の場合、接続時に自動で設定されます。				
D1353	REGISTER サーバアドレス PKG 種別/収容位置 >半角英数字/記号 0～64 文字 FQDN 時: 半角英小文字/数字/記号 0～64 文字(但し、記号は「:」「”」 は除く) IPv4 時: 1.0.0.0～223.255.255.255(ただし 127.0.0.0～127.255.255.255を除く)	(PKG 毎) 未登録	ひかり外線に接続 時、自動で設定され ます。(参照のみ可 能)	
解説: ひかり外線(IPHO パッケージに収容)の場合、ひかり外線に接続することで、 SIP サーバ関連データ(D1351～D1355) は自動で設定されます。				
D1354	REGISTER サーバポート PKG 種別/収容位置 >1～65535	(PKG 毎) 5060	5060 (参照のみ可能)	
解説: ひかり外線(IPHO パッケージに収容)の場合、接続時に自動で設定されます。				

データ番号	データ/コマンド名(設定範囲)	初期値	設定値	備考
D1355	SIPドメイン名 PKG 種別/収容位置 >半角英数字/記号 0~64 文字(ただし、記号は「.」 「_」「-」のみ可)	(PKG 毎) 未登録	ひかり外線に接続時、自動で設定されます。(参照のみ可能)	
解説:ひかり外線(IPHO パッケージに収容)の場合、ひかり外線に接続することで、 SIP サーバー関連データ(D1351~D1355) は自動で設定されます。				
D853	IP 回線着番号チェック PKG 種別/収容位置 しない する	する	1つのひかり外線(アクセスライン)で複数の番号を利用する場合は、変更しません。	
解説: IP 回線契約番号(D851) を設定することで、1つのひかり外線(アクセスライン)で複数の番号を利用することができます。なお、この場合は 着番号チェック(D853) を「 する 」に設定しますので、初期値のまま変更しないでください。				
D290	IP 回線通知番号(回線毎) 収容位置指定 >IP 回線通知番号エリア 000~299	全収容位置 > エリア 000	IPHO の回線を使用した場合、通知する契約番号を収容位置毎に指定します。代表契約番号は000 に設定されています(D851 参照)。	ユーザーの運用に応じて設定します。
解説:ひかり外線(IPHO パッケージに収容)の場合、ひかり外線発信時に収容位置毎に通知する IP 契約番号を指定します。IP 回線番号通知機能を利用する場合は、あらかじめ NTT のひかり電話オフィスAで番号通知機能を有効にする必要があります。				

(2) 個人向けサービス ひかり電話、ひかり電話Aの場合

個人向けひかり電話・ひかり電話Aを收容する場合に特有なデータ設定項目を以下に示します。その他に必要な項目は、前項(1)に記載したビジネス向けサービスの、ひかり電話オフィスA、ひかり電話オフィスタイプでの設定と共通ですので、各項目を参照ください。

データ番号	データ/コマンド名(設定範囲)	初期値	設定値	備考
D1362	追加番号取得方式	自動	手動	本データを「手動」に変更しても、代表契約番号・追加番号は自動で取得され、D851 に登録されます。 下記、解説を参照ください。
<p>解説: 個人向けひかり電話、ひかり電話Aをご利用の場合は、本データをかならず「手動」に変更します。</p> <p><u>参考情報</u> 本データによる「自動」取得は、6 番号以上契約時のHTTPによる自動設定(ひかり電話オフィスA/ひかり電話オフィスタイプのみ)に適用)となります。個人向けひかり電話/ひかり電話Aの場合、5 番号までの契約であり、本データを「手動」に設定しても別の方式(DHCP)により自動設定されます。</p>				

4-4-3. 内蔵ルーターのデータ設定

(1) [Ma02] WAN インターフェース収容機能

内蔵ルーターの「**工事・保守マニュアル(サービス機能仕様編):[Ma02]WAN インターフェース収容機能**」を使用して、ひかり電話サービスとともにインターネット接続を利用することができます。その場合は利用するパッケージのルータ機能を有効にする必要があります。IP 接続(固定 IP、または DHCP による自動取得)と PPPoE 接続のいずれかを選択できますが、PPPoE 接続を選択した場合は「PPPoE 設定」も必要です。キャリア(もしくはインターネットサービスプロバイダ)の指定する方式で設定してください。

データ番号	データ/コマンド名(設定範囲)	初期値	設定値	備考
D1206	ルータ機能 PKG 種別/収容位置 >OFF / ON	(PKG 指定) OFF	ON	インターネット接続を利用する場合は必ず「ON」にします。
解説:IP 電話サービスとともにインターネット接続サービスを併用する場合は、本データで当該パッケージのルータ機能を「ON」にする必要があります。本データが「OFF」の状態のままだと、以下の関連データの設定が有効になりません。				
D1314	PPPoE 設定 (PPPoE1~5) ①接続モード>OFF / ON ②インターフェース名>半角英数字/記号 1~8 文字(ただし半角記号は「-」「/」「_」のみ可) ③プライマリ DNS(サーバーアドレス) >1.0.0.1~223.255.255.254 (127.0.0.0~127.255.255.255 を除く) ④セカンダリ DNS(サーバーアドレス) >1.0.0.1~223.255.255.254 (127.0.0.0~127.255.255.255 を除く) ⑤認証方式> 無し / 有り ⑥ログイン名>半角英数字/記号 0~64 文字(ただし半角記号は「スペース」を除く) ⑦パスワード>半角英数字/記号 0~64 文字 ⑧MTU 値 >576~1492 ⑨MRU 値 >576~1492 ⑩ステルスモード>有効 / 無効	① OFF ② PPPoE_1~PPPoE_5 ③ 0.0.0.0(未登録) ④ 0.0.0.0(未登録) ⑤ 無し ⑥ 未登録 ⑦ 未登録 ⑧ 1454 ⑨ 1492 ⑩ 有効		解説で示したとおり、キャリア(NTT 東日本/西日本)から取得した契約内容に記載された情報を設定します。
解説:PPPoE 接続を選択した場合、 本データ(D1314) を、次のとおり設定します。①セッション:「ON」、③契約内容の「 プライマリ DNS(サーバーアドレス) 」、④契約内容の「 セカンダリ DNS(サーバーアドレス) 」、⑤認証方式:「有り」、⑥ログイン名(ユーザー名):「 契約内容のユーザ ID(設定例:1234@abc.com) 」、⑦パスワード:「 契約内容のパスワード(設定例:Pass1234) 」、をそれぞれ設定します。ただし、PPPoE 接続で DNS サーバーアドレスを自動取得する場合は、③項~④項の DNS サーバーアドレス(プライマリ、セカンダリ)の設定は不要です。				

データ番号	データ/コマンド名(設定範囲)	初期値	設定値	備考
D1326	ProxyDNS 機能 PKG 種別/収容位置 ① ProxyDNS 機能 >OFF / ON ② インターフェイス番号 >PPP1～PPP5 (機能を有効にした場合以下も設定) ③ IP アドレス ④ ホスト名	(PKG 指定) ① OFF ② PPP1 ③ 0.0.0.0(未登録) ④ (未登録)		ユーザネットワークの必要に応じて設定します。
<p>解説: 本データを「ON」にすることで、LAN 側からの DNS (IPv4) のドメイン解決要求に対して、テーブル内の検索、または代理で問合せを行い、応答を返すことができます。「OFF」に設定している場合は、ドメイン解決要求に対して応答は返しません。この場合は、LAN 配下の端末には WAN 側の DNS サーバーを直接指定することによりドメイン解決を行うことができます。</p>				
D803	DHCP 設定 スコープ (1～32) >有効にする(チェック) スコープ設定 ① ネットワークアドレス ② サブネットマスク ③ デフォルトゲートウェイ DNS サーバアドレス ④ プライマリ ⑤ セカンダリ PC および標準 SIP 端末用スコープ ⑥ 開始アドレス ⑦ 終了アドレス ⑧ クライアントリース時間	(スコープ毎) 無効(チェックなし) ① 0.0.0.0(未登録) ② 255.255.255.0 ③ 0.0.0.0(未登録) ④ 0.0.0.0(未登録) ⑤ 0.0.0.0(未登録) ⑥ 0.0.0.0(未登録) ⑦ 0.0.0.0(未登録) ⑧ 72 時間		ユーザネットワークの必要に応じて設定します。 スコープ内で自動割当から除外する範囲の指定も可能です。「除外アドレス設定」タブをクリックすると設定できます。
<p>解説: ネットワーク配下の PC などに IP アドレスを自動で割り当てる場合に設定してください。IP アドレス等を設定したあと、「スコープを有効にする」に必ずチェックを入れてください。チェックがないと各種 IP アドレス設定は有効になりません。</p>				

(2) [Ma04] DHCPv6 クライアント

以下のデータは参照のみ可能です。設定する必要はありません。

データ番号	データ/コマンド名(設定範囲)	初期値	設定値	備考
D1313	IP 自動取得(DHCPv6) > IPv6 アドレス設定方法(PKG 毎)	IPHO: ON(有効)	初期値で動作します。(参照のみ可能)	
解説: ひかり電話オフィスタイプ、オフィス A 収容時、DHCP により WAN 側ネットワークから IPv6 アドレスプレフィックスを取得することで、IPv6 の通信が可能です。なお、ひかり外線(IPHO パッケージに収容)の場合、本データは接続時に自動で設定されます。				
D1313	IP 自動取得(DHCPv6) > 取得プレフィックス(PKG 毎)	0:0:0:0:0:0:0	本データは参照のみです。	
解説: PC 保守コンソールにて自動取得済みのプレフィックスを参照できるもので、データ変更を行うものではありません。				
D1313	IP 自動取得(DHCPv6) > 取得プレフィックスレンジ(PKG 毎)	0	本データは参照のみです。	
解説: PC 保守コンソールにて自動取得済みのプレフィックスレンジを参照できるもので、データ変更を行うものではありません。				

4-4-4. データ設定時の注意事項

ひかり外線の発信接続系のデータ設定に関する注意事項は特にありませんが、着信接続系のデータ設定の場合、NTT 東日本、NTT 西日本の NGN 網(Next Generation Network: 次世代ネットワーク)側から着番号(IP 回線契約番号)が送出されますので、ユーザーの運用に応じて着信形式を決定し、着信先(内線、DGL グループまたは一般着信など)を設定してください。このとき、着信形式を指定する収容位置(SC)は、[IP 回線契約番号\(D851\)](#)で契約番号ごとに設定した収容位置(SC)になります。

4-4-5. 設定データの保存(バックアップ)

ユーザーの事務所内に本システムを設置した後、ひかり外線収容関連の設定データを設定します。ひかり外線収容関連の設定データを保存するために PC 保守コンソール、または USB メモリに保存(バックアップ)を行ってください。

(1) PC 保守コンソールへの保存(バックアップ)方法

操作方法については、「[工事・保守マニュアル\(保守編\):PC 保守コンソール](#)」を参照してください。

(2) USB メモリへの保存(バックアップ)方法

操作方法については、「[工事・保守マニュアル\(保守編\):PC 保守コンソール](#)」、または「[工事・保守マニュアル\(保守編\):電話機保守](#)」を参照してください。

5. 試験

5-1. 着信試験

5-1-1. 指定着信先への着信接続

ユーザーの運用により着信形式が異なりますが、以下に代表的な着信形式ごとの確認内容を示しますので、ユーザーの運用に応じて動作確認を行ってください。

(1) 着番号(IP 回線契約番号)の着信先に内線を設定した場合

- ① ひかり外線から着信したとき、指定された内線が着信鳴動するとともに、**外線**ボタンが赤速点滅します。
- ② 赤速点滅中の**外線**ボタンまたは、**応答**ボタンを押下することで鳴動が停止し、**外線**ボタンが緑点灯に変化します。
- ③ 該当する内線が、ひかり外線と明瞭に通話できることを確認します。

(2) 着番号(IP 回線契約番号)の着信先に DGL グループを設定した場合

- ① ひかり外線から着信したとき、指定された DGL グループ内の内線が着信鳴動するとともに、**DGL**ボタンが赤速点滅し、さらに**外線**ボタンが赤点灯します。
- ② 赤速点滅中の**DGL**ボタンを押下することにより、着信鳴動が停止するとともに**DGL**ボタンが滅灯し、さらに**外線**ボタンが緑点灯に変化します。
- ③ 該当する内線が、ひかり外線と明瞭に通話できることを確認します。

(3) 着番号(IP 回線契約番号)の着信先に一般着信を設定した場合

- ① ひかり外線から着信したとき、着信鳴動するとともに、**外線**ボタンが赤速点滅します。
- ② 該当する内線がオフフックすることで、鳴動が停止するとともに**外線**ボタンが緑点灯に変化します。
- ③ 該当する内線が、ひかり外線と明瞭に通話できることを確認します。

5-2. 発信試験

5-2-1. ひかり外線への発信接続

ユーザーの運用により発信形式が異なりますが、以下に代表的な発信形式ごとの確認内容を示しますので、ユーザーの運用に応じて動作確認を行ってください。

(1) **外線**ボタン押下による外線発信の場合

- ① 受話器をオフフックして**外線**ボタンを押下し、相手先番号をダイヤルします。このとき、**外線**ボタンは緑点灯します。
- ② 相手先が応答することにより、ひかり外線と明瞭に通話できることを確認します。

(2) **発信**ボタン押下による外線発信の場合

- ① 受話器をオフフックして**発信**ボタンを押下し、相手先番号をダイヤルします。このとき、**外線**ボタンは緑点灯します。
- ② 相手先が応答することにより、ひかり外線と明瞭に通話できることを確認します。

(3) 「(自動選局特番)」ダイヤルによる外線発信の場合

- ① 受話器をオフフックして「(自動選局特番)」をダイヤルし、相手先番号をダイヤルします。このとき、**外線**ボタンは緑点灯します。
- ② 相手先が応答することにより、ひかり外線と明瞭に通話できることを確認します。

発信・着信試験いずれも確認OKにならない場合は、障害ログをチェックし、工事保守マニュアル「運用編」の 4-3-4. 障害コード一覧 に記載されている大区分=PKG 障害 / 中区分=IPPKG 障害通知や、大区分=回線 / 中区分=VoIP で、障害レベル=W 注意、または E 異常がないかを確認してください。

索引

- B -

BRGI パッケージの機能 1 - 9

- I -

IPHO パッケージの機能 1 - 5

- N -

NGN 網 1 - 25

NGN 網/公衆網 I

- V -

VoIP 通話チャンネル増設パッケージ(BRGI) I

- あ -

アクセス回線の種別 1 - 1

- し -

実装制限超過 1 - 6, 1 - 9

- ひ -

光回線終端装置 I

ひかり電話 I

ひかり電話A I

ひかり電話オフィスA I

ひかり電話オフィスA対応 VoIP パッケージ(IPHO) I

ひかり電話オフィスタイプ I

ひかり電話サービスの種別 1 - 1

- ふ -

フレッツ 光ネクスト I

- れ -

レガシー I

サクサ株式会社

1358BM	173-1	D
--------	-------	---

4438081900

この資料の内容は平成29年3月現在のものです。

この資料は、再生紙を使用しています。